

採血について



採血は、病状を把握するために必要な検査です。

ごくまれに以下のような合併症が起きる場合があります。

アレルギー・ 過敏症

消毒薬や職員の手袋などで、かゆみや発疹等アレルギー症状が出現することがあります。もっとも起こりやすいのが消毒薬のアルコールに対する過敏症です。

上記のような症状がある方は、採血前に職員にお申し出ください。

止血困難 皮下出血 (青あざ)

血液が止まらずに内出血が起こり青くなります。特にワーファリンなどの抗凝固薬を内服されている方は、採血部位を10分ほどしっかり押さえてください。10日ぐらいであざはなくなりますのでご安心ください。

血管迷走 神経反応

迷走神経が興奮し、急激に血圧が下がるため、めまい、気分不快感、意識消失などを引き起こします。

採血前にお申し出いただければ、安全のためベッドに寝て採血を行います。

神経損傷

採血後も手指へ拡がる痛み、しびれなどが持続します。おおむね1週間程度で改善傾向に向かい、大部分は3ヶ月以内に改善します。

採血時に激痛や指先に痺れがある等ありましたら、すぐに職員にお申し出ください。

採血について不明な点、不安な点がございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。

アレルギーってなあに？

人間には、体の中に入ってきた細菌やウイルスなどの病原体から体を守る「免疫」という働きがあります。この免疫が食べ物やダニなどに対して過剰に反応してしまうのが「アレルギー反応」です。

こどもに多いアレルギーにはどんな種類があるのでしょうか？



アトピー性皮膚炎

アトピー性皮膚炎は、ブツブツ・ざらざらとしたかゆみのある湿疹が良くなったり悪くなったりを繰り返します。原因は食べ物やダニなどさまざまです。



食物アレルギー

食べ物が原因でアレルギー反応が出るのが食物アレルギーです。じんましんや唇の腫れ、腹痛・嘔吐など症状はさまざまです。3才頃までの原因で多いのは、卵・牛乳・小麦です。



気管支喘息

空気を肺に送る通り道の気管支が急に狭くなる病気が気管支喘息です。呼吸が発作的に苦しくなり、息を吐くときに、ヒューヒュー・ゼーゼーという音がします。原因はダニやカビ、動物の毛やフケなどです。



アレルギー性鼻炎

鼻のアレルギーで、喘息の子どもによくみられます。症状はくしゃみ・鼻水・鼻づまりのほか、目やのどのかゆみを伴うこともあります。原因はダニやスギ花粉（→花粉症）などです。

イラスト出典元：独立行政法人環境再生保全機構パンフレット

☆当院は紹介予約制の医療機関のため、まずは、かかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。